



「とうふ」知ってますか？もちろん知ってますよね。じゃあ「とうふ男」はどうですか？  
とうふ男のつくりは普通の男性と同じです。  
ただし、名前のおり、頭のとっぺんからつま先まで全身とうふで出来ています。  
ばかばかしい。とうふ男なんて。そういう人も当然いるでしょう。  
でも、とうふ男は本当にいるんです。

きのうの夕方、家でテレビを見ているときでした。  
背中にとうふの気配を感じて、ぱっと振り返ると、そこにとうふ男が立っていました。  
ふつうなら、ここでびっくりするんでしょうけれど、私の場合、こういうことは結構あるので、  
とくに驚きもしませんでした。  
あ、とうふ男が来たな。そんなところですよ。  
はあ。はあ。はあ。と、とうふ男は苦しそうに息をしていました。  
ここまで走ってきて汗をかいたのか、それとも、とうふだからなのか、足元には小さな水たまり  
ができています。  
わりといまふうの格好をしているのですが、なにしろその服も全部とうふですから、ずっと、ぷ  
るぷる、ぷるぷる、震えています。  
とうふ男は上着のすそに貼りついたビニールのはし切れを手にとり、私に見せました。

《 消費期限 10.10.15 》

「これって今日だよ」と、私。  
「私を買った女性が今日になって突然イタリア旅行に出かけてしまったのです。きっと彼女は帰  
ってきたら、この日付を見て、私を捨ててしまうでしょう」  
とうふ男はとうふで出来た目を悲しそうに伏せました。  
「何の料理にも使われず、そのまま捨てられるなんて・・・」  
「つまり、とうふ・・・というか、あなたを使って何か料理を作ればいいわけよね？」  
とうふ男はとうふで出来た目を輝かせました。ええ、本当にとうふの目が輝いたんです。  
「そのとおりです。作ってくれますか？」

とうふ男って、要するにとうふでしょ？

そう思っている人もいるでしょう。たしかにある意味、ただのとうふです。

でも、ただのとうふはこんな風に話したりしません。

「みそ汁は？」

「みそ汁はあたりまえすぎていやです」

「マーボー豆腐は？」

「辛いのはだめです。・・・なったことないけど、たぶんヒリヒリしそうで」

「じゃあ、ゴーヤーチャンプルーなんてどうかな？」

「苦いのはもっとだめです。涙が出そうじゃないですか」

「湯どうふ」

「とりあえず熱いのがだめなんです。だから冷たい・・・」

はやくそれを言ってよ。

「冷ややっこ？」

「そうです。それです。冷ややっこ。冷ややっこをお願いします」

ここでひとつ問題がありました。かつおぶしを切らしていたのです。

「いりませんよ、かつおぶしなんて。ねぎとしょう油。しょう油がなければ、ポン酢でもいいじゃないですか。それでじゅうぶん冷ややっこでしょ？」

ま、たしかにとうふの言うとおりで。私にとっての冷ややっこは、かつおぶしがないと冷ややっこじゃないんだけど、そういうのって、人それぞれですから。目玉焼きに何をかけて食べるか、とかね。

とにかく善は急げです。私はさっそく冷ややっこをつくることにしました。

ねぎを切り、透きとおった涼しげなガラスの器に、一丁ぶんの大きさにしたとうふ男を盛って、しょう油をかけました。

「ちょ、ちょっと」と、とうふ男。

「どうしたの？」

「だめです」

「なにが？」

「しょう油のにおいです。見たことはあったんだけど。鼻につ一んとくるな。ポン酢にしてください。はやくこのしょう油をふき取ってください」

私はキッチンペーパーでとうふ男にかけたしょう油をふき取りました。

そして、ポン酢を・・・。

「だめだ！ポン酢もだめだ！ついでにもう一つ正直に言わせてもらおうと、ねぎもだめです！」

見た目の単純さとはうらはらに、とうふ男は複雑な男でした。

私はてっとり早い解決案を出しました。

「じゃあ、そのまま食べましょう」と。

しかし、この案にもとうふ男は異議を唱えたのです。

「それはやめた方がいいですよ。だって私はどちらかという硬いとうふですし」

このとき、私はしょうがを切らしていたことにも気づいたのですが、そんなことはもうどうでもよくなっていました。もしかしたら冷蔵庫の奥の方に少しだけ残っているかもしれない、とも思いましたが、確かめるのもめんどくさかったし、今からしょうがをおろすのもごめんでした。とうふ男がぷるぷると、とうふで出来た口を開けて何かしゃべっているのを、ただぼんやりと聞いていました。

「それにもう新鮮じゃないから、そのまま食べてもおいしくありませんよ。たぶん」

結局、次の朝、とうふ男はみそ汁の具になりました。  
消費期限は過ぎていましたが、べつに一日くらい大したことありません。  
久しぶりに私はとうふのみそ汁をおいしくいただきました。  
やっぱり、みそ汁にはとうふかな、と。